

都市再生整備計画 事後評価シート

亀岡駅北周辺地区

平成31年3月

京都府亀岡市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	京都府	市町村名	亀岡市	地区名	亀岡駅北周辺地区			面積	51.8ha		
交付期間	平成25年度～29年度	事後評価実施時期	平成30年度	交付対象事業費	940.8百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(1級河川曾我谷川右岸堤防道路、駅北余部線交差点)、公園((仮称)亀岡駅北公園)、地域生活基盤施設(浸水対策施設(亀岡駅北地区外排水路))、高質空間形成施設(修景整備(駅前広場))								
		提案事業	まちなみ・まちづくり計画策定、事業効果分析								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	駅前広場整備、亀岡駅北駐輪場整備、(都)亀岡駅北線修景整備、駅前広場整備(歩行者支援設備(シェルター等)整備)、亀岡駅北線、駅北余部線修景整備、1級河川曾我谷川右岸堤防道路修景整備		削除/追加の理由 亀岡駅北土地区画整理事業の進捗状況により実施出来ないため		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 指標「亀岡駅利用者数(年間乗降客数)」と「地区内人口」を削除 指標「桂川左岸地区(高水敷)の年間利活用件数」を追加 指標「本地区でのまちづくり等に関する活動団体数」の目標値を5団体に変更				
		提案事業	なし								
	新たに追加した事業	基幹事業	(仮称)保津川水辺公園整備 案内板整備		桂川左岸地区の高水敷を公園として整備する土地利用計画を策定し、交付対象事業に位置づけて実施するため追加 利用者の誘導と自動車利用者や訪問者に告知するため追加		指標「環境に対する満足度」を追加 指標「本地区でのまちづくり等に関する活動団体数」の従前値を3団体、目標値を7団体に変更し、その後に目標値を5団体に変更				
		提案事業	保津川かわまちづくり推進協議会支援事業 じゃこ田・湿地創出ワークショップ		「保津川かわまちづくり推進協議会」と「水端かわまちづくりワーキンググループ」の会議運営を支援するため追加 じゃこ田・湿地エリアの創出と保全を図るため追加		指標「環境に対する満足度」を追加 指標「本地区でのまちづくり等に関する活動団体数」の従前値を3団体、目標値を7団体に変更し、その後に目標値を5団体に変更				
	交付期間の変更	当初	平成25年度～29年度		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響						
		変更									
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数 値 モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
指標1		本地区でのまちづくり等に関する活動団体数	団体	3 H24	5 H29		7	○	あり なし	水辺空間を活かした整備により、サッカー、グラウンドゴルフ、パークゴルフ等、日常的に利活用される活動団体数の増加につながった。	—
指標2		環境に対する満足度	%	32.2 H24	35.0 H29		64.2	○	あり なし	多様な利用層を想定した整備がされたことや、保津川かわまちづくりの推進により環境に対する満足度が大幅に向上した。	—
指標3		桂川左岸地区(高水敷)の年間利活用件数	件	0 H24	150 H29		600	○	あり なし	「保津川の日」等のイベント利用や、パークゴルフや少年サッカー等のスポーツ等で利用された。	—
指標4		駅前にぎわい広場の年間利用者数	人	0 H24	1,200 H29		0	×	あり なし	● 亀岡駅北土地区画整理事業の進捗に合わせた工程で進めており、駅前広場の完成に至らなかったことから目標値を達成できなかったため、2期計画にて目標値の達成を判断する。	平成32年4月～ 平成33年3月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数 値 モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	その他の数値指標1										
	その他の数値指標2										
	その他の数値指標3										
4)定性的な効果発現状況											
5)実施過程の評価		実施内容			実施状況			今後の対応方針等			
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	持続的なまちづくり体制の構築	保津川かわまちづくり推進協議会の持続的開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 保津川かわまちづくり計画に基づき、京都府と地域をはじめ様々な主体が相互に連携して、整備内容や手法及び管理運営方法も含めた実現方策を具体的に検討し、それぞれの役割分担と協働のもとに推進していく。		

様式2-2 地区の概要

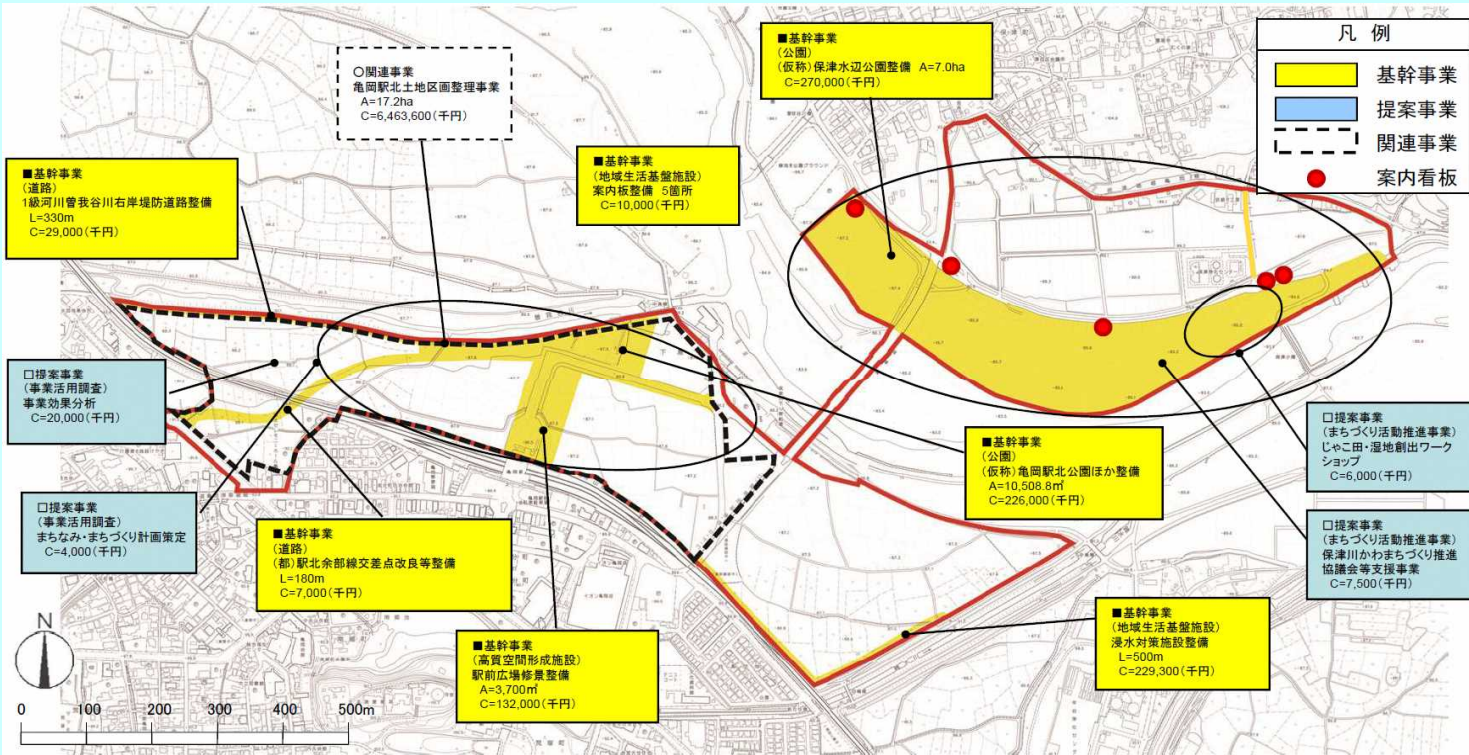
亀岡駅北周辺地区(京都府亀岡市)都市再生整備計画事業の成果概要										
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値		
大目標 水と緑が調和する賑わいもてなしの新たな亀岡の顔づくり		本地区でのまちづくり等に関する活動団体数	単位: 団体	3	H24	5	H29	7	H30	
目標1 亀岡の魅力を実感できる「行ってみたい」まちづくり		環境に対する満足度	単位: %	32.2	H24	35.0	H29	64.2	H30	
目標2 自然・景観の素晴らしさと駅前の利便性の高さをいかした「住みたい」まちづくり		桂川左岸地区(高水敷)の年間利活用件数	単位: 件	0	H24	150	H29	600	H30	
目標3 賑わいやもてなしを支える「ふれあい・助け合い」のあるまちづくり		駅前にぎわい広場の年間利用者数	単位: 人	0	H24	1,200	H29	0	H30	



駅前広場修景整備(施工中)



浸水対策施設整備



○関連事業
亀岡駅北土地区画整理事業
A=17.2ha
C=6,463,600(千円)

■基幹事業
(道路)
1級河川曾我谷川右岸堤防道路整備
L=330m
C=29,000(千円)

□提案事業
(事業活用調査)
事業効果分析
C=20,000(千円)

□提案事業
(事業活用調査)
まちなみ・まちづくり計画策定
C=4,000(千円)

■基幹事業
(道路)
(都)駅北余部線交差点改良等整備
L=180m
C=7,000(千円)

■基幹事業
(高質空間形成施設)
駅前広場修景整備
A=3,700㎡
C=132,000(千円)

■基幹事業
(公園)
(仮称)保津水辺公園整備 A=7.0ha
C=270,000(千円)

■基幹事業
(地域生活基盤施設)
案内板整備 5箇所
C=10,000(千円)

■基幹事業
(公園)
(仮称)亀岡駅北公園ほか整備
A=10,508.8㎡
C=226,000(千円)

■基幹事業
(地域生活基盤施設)
浸水対策施設整備
L=500m
C=229,300(千円)

□提案事業
(まちづくり活動推進事業)
じゃこ田・湿地創出ワーク
ショップ
C=6,000(千円)

□提案事業
(まちづくり活動推進事業)
保津川かわまちづくり推進
協議会等支援事業
C=7,500(千円)

凡 例
■ 基幹事業
□ 提案事業
○ 関連事業
● 案内看板

(仮称)保津川水辺公園整備
多目的広場

(仮称)保津川水辺公園整備
駐車・駐輪スペース

まちの課題の変化

- ・道路整備により亀岡駅北土地区画整理事業で整備される道路網とのネットワークの基盤が形成され、公園整備や修景整備により交流の促進と土地区画整理事業の事業計画における定住人口の適正な確保の基盤が整った。
- ・当初計画から削除した事業については、亀岡駅北土地区画整理事業の進捗に合わせて計画を見直した結果、2期計画を策定し実施していくこととする。
- ・亀岡駅北土地区画整理事業により都市排水の増加が危惧されることになるが、その下流部に浸水対策施設整備として排水路整備を行ったことにより治水安全度が向上した。
- ・公園整備を行った桂川左岸地区と隣接する京都スタジアム(仮称)等の整備中の地区と合わせた案内板整備を検討する。

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

- ・イベントやスポーツ大会等を積極的に開催できるよう広報し、年間利活用件数を増やしていくことや、地域主体の運用方法を検討し、保津川水辺公園(仮称)の活用の推進や市民協働によるまちづくりを完成する。
- ・保津川かわまちづくり推進協議会及びワーキンググループ会議を持続的に開催する。
- ・亀岡駅北土地区画整理事業の進捗に合わせた整備を引き続き行うことにより、牛松山や田園風景ををはじめとした亀岡らしい原風景の眺望の保全を確保した修景整備や、観光客をもてなすことができる亀岡駅前の整備を行うなど、賑わいのある市街地の形成を行い、交流の促進と定住人口の適正な確保を行う。